

# 足袋ゆけば

もっぴー 茂山宗彦の

新年の節目も大変やけど、  
暦の節目も大変ですわあ。  
2月3日、それは俺にとつては  
「やっと済んだわあ〜」な日ですなあ。

原因は俺?  
雨男やもん…(涙)

## ON

### 世間はこの日、鬼だらけ。 年に1回の出番、その実態とは…。



▲おかめさん、雨で涙目です?

▲おかめのくせに髭が濃!

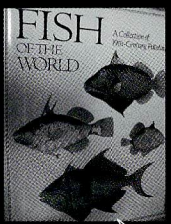
京都のあちらこちらで行われる「節分祭」。有り難いことで、我が茂山家でも北野さん、平安神宮さん、千本釈迦堂さんで参加させてもらってます。俺の担当は千本釈迦堂さんです。この節分祭のストーリーは「鬼が暴れるので年男が豆を撒いて一度は治めるが、また鬼が暴れだし、年男に加えて、おかめさんが治めにやってくる」というもの。この単純明快なお芝居を狂言師がやっちゃうんです。ある程度の台詞もあるんやけどそこは即興。今回初めて手伝いに来てくれた書生君は「いや、どうしたらいいんですか? 全体的に分かんないです。その間に先輩達も「空気よめ! 俺らの絆を感じろ〜」とか楽屋でいっつもどおりふざけてたら、緊急事態発生! 御堂がなんと停電になつてました。こんなアクシデントは初めてです。紫の衣を着てはるおさん! 茂山家ではお坊さんの事) 走りまくってのはし(師走でもないのに)。そして笑ってけなない事態に…。何とか復旧して無事節分祭スタート! …ところが今度は音響システムに問題発生! 流れるべき音が流れない! どうする俺達? はい、進行いたしましたよ、何の問題もなかったように(嘘)。無事「節分祭」終わって何よりでした。つても写真見てもうえればわかるでしょ? 待つだけでも大変ですから。

## OFF

### 俺を振り回す、かわいさアイツ?

俺「待てない。ヤツ「待つてお願い」。俺「我慢出来ないんだ。俺の知らない君のページをめくるよ。ヤツ「いやあ〜」。そりゃ壊れるつづくねん、フェロモン山盛の惚れた女子が、優しく俺に「久しぶり、変わったでしょ? ワ・タ・シー」そんな気分!

チツク、小悪魔、艶女チツク、大大大。大ちゆきデ〜ス。かつて俺が尊敬する男はこんな言葉を残した。「金と女はこの手に抱くまで、信用しちゃいけねえ〜」て、アルセーヌ・ルパン3世…。

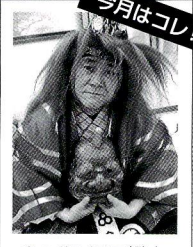


これが先代の図鑑、萌え〜です!



俺は彼の言葉を実行してこの本を手に入れた。突如出来た休日の夕方に、そう、俺による俺の俺の癒し。価格はどうでもい、しかアイツは来月の帰国(モルディブ)に連れて行く。抱いてやたせ! だけどアイツが一番の仕事をしたに違いない。俺のハートを簡単に盗んでいったからねえ。読者の女性の皆さん、男心盗むの簡単です。

## 今月はコレ!



鬼のボス(千三郎)もクタクタ

## 茂山宗彦

1975年6月4日生。O型。  
「酒、美女、自然」を三種の神器とし、釣り人としての時間を愛す。出鱈目な英語とスラングな京都弁を駆使し、たまに世界中を飛び回る狂言師。4月の帰国に想いを馳せる日々。



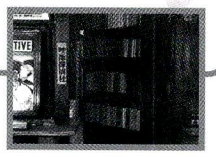
## 滋賀県! ご当地ソング



今、滋賀である曲がヒットしているらしい。滋賀の「あるあるネタ」を楽曲である「カイツブリ」が歌うという『知ったかぶりカイツブリ』。滋賀県民なら誰しもが共感できる歌詞、歌いやすいリズムもあって滋賀では空前のブームメントになっているという。『知ったかぶりカイツブリ』は、昨年の6月に滋賀にあるテレビ局のびわ湖放送とエンターテインメント集団「藤井組」が滋賀を歌で盛り上げようとした企画であった。最後は『知ったかぶりカイツブリ』と「谷口な夜」のコラボレーションアニメを作ってもらいました。

## BAR探偵

京都市左京区に「BAR探偵」という変わったお店がある。一見すると、普通のバーのように見えるのだが、店の奥にある本棚の奥には、隠し部屋があるのだ! 実はこの店のオーナー、映画『私立探偵 濱マイク』シリーズを手がける林海象監督だったのだ! 少年時代から探偵に憧れていた林海象監督は、探偵好きが高じてお店で作ってしまったという、自慢の隠し部屋には本物の探偵手帳や虫眼鏡など、様々な探偵グッズが並んでいる。あなたも、林海象監督の力作である、探偵の魅力たっぷりの「BAR探偵」に足を運んでみては?



## 最高級乃鍋を求めて



谷口キヨコに美味しい冬の味覚を楽しんでもらうべく、京丹後市の久美浜町を訪ねた。駅で聞き込みをする。この時期は牡蠣が美味しいという情報を入手! 早速、港で漁師さんを探すことに。すると、停泊中の船を発見! なんと牡蠣を捕りにいく所だという。無理を言って船に乗せてもらい、牡蠣の養殖船に到着。引き揚げると現れたのは、立派な牡蠣! 大粒でプリプリの牡蠣をなんと漁師さんはそのままバック! 捕れたてを味わえるのは漁師の特権だ。今回は、この牡蠣をいただいて、スタジオの谷口キヨコに牡蠣鍋をご馳走。久美浜の牡蠣を食べた谷口キヨコも大満足! 漁師の西中さん、ありがとうございました。

## KBS京都×CFメディアMIX コラボレート企画

KBS京都 毎週土曜日 夜11時30分 絶賛放映中

## 谷口キヨコ



# 谷口な夜

誌上

こんばんにゃ〜! 谷口キヨコです。春! 春! 春! いい季節がやって来ましたね。日に日に暖かくなって、心も暖かくなるわ〜! でも3月は別れの季節…。ちょっとびりセンチメンタルになったり…。新しい出会いにときめいたり…。って金太郎師匠はもう5年も番組やってるやんな? もうそろそろ新しいパートナーに登場してもらってええんちゃう? どうか、プロデューサー?

わんばんこ! 金太郎です。谷口! 師匠の俺に肉かっつて、変わりはおらんかっつていうのはどういう事や? 谷口の気持ちわかる猫なんぞ、そろそろへんで。谷口! 俺はこう見えても尽くすタイプなんや。もう、えらそーなこと言わへんから、捨てんといて! お願いこや〜!!



番組のHPへアクセスしてご意見・ご感想・応援メッセージなど、どんどんメールしてください!  
パソコン <http://www.kbs-kyoto.co.jp/taniyoru/>  
ケータイ <http://www.kbs-kyoto.co.jp/taniyoru/mobile/>